



出家決意と出城

(パキスタン・ガンダーラ) 3世紀頃 『ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡展』より

老病死という苦しみをかかえて生きていかねばならないという「わが身の事実」に気づいた王子(釈尊)は、真の安らぎを求め沙門として生きていくことを決意しました。

息子の様子を案じていた父王は、宴をひらき王子の気持ちに晴らそうとします。しかし宴が開かれたその夜、衆女が寝静まるのを待ち、今こそ城を出る時だと判断した王子は、傍で眠るヤシヨーダラー妃に気づかれぬようベッドから起き上がりました。生まれたばかりの我が子ラーフラの顔をもう一度見たいと思いつつも、扉の側で待つ従者チャナンと愛馬カンタカに駆けより、ついに城を後にします。時に釈尊二十九才であつたと伝えられています。

画面上段は、眠る王妃の傍で、出家を決意して起き上がった王子が、チャナンに馬の用意をするよう命じています。

下段は、馬に乗った王子が城を出る場面が描かれています。蹄の音で人々が目を覚まさぬよう、神々がカンタカの足を支えている様子も窺えます。

その左側で弓矢を持っているのは、毘沙門天(びしゃもんてん)です。

題字：小山実千代（伯東寺坊守） 解説：中川正法（西蓮寺住職）

即如門主ご巡教記念法座 戦争犠牲者追悼法要

圓徳寺総代会計

八尋 一男

二〇一三年六月五日(水)即如門主ご巡教記念法座 戦争犠牲者追悼法要が宮崎山圓徳寺にて、昼・夜と二座が開催された。共に六十人前後の聴聞者があり蚊にさされるのも気づかず熱心にご講師の話に耳を傾けた。

この法要に先立ち、総代関係者で駐車場の確認・草刈り、植木の剪定など奉仕作業に従事した。そして当日は境内外の掃除・駐車場看板の表示を設置し、参拝者をお迎えした。準備段階で早々に藤山組長がお見えになり、仏教婦人会や総代・世話人の作業を拝見され、さすがしく圓徳寺に入られた。そして、目につかない裏方さんのご苦労があつてこそ、この記念法座が気持ちよくできていると、ねぎらいの言葉もあり、役員関係者もうれしく感じた。

ご講師は福岡教区教務所長の熊本義秀さまであつた。「京都在住五十五年の者が福岡にきていて熊本です」との自己紹介では県名が三つとなり笑いがとんだ。

十一代頭如上人の時代までは本願寺は一つであつたが、大阪城築城に伴い本願寺明け渡し抗争が十一年間続き、御上の仲裁で移動が決まり、西(本願寺)は信長・秀吉側となり、徳川は浄土真宗を一派にすることで強大な力、保持を憂い、東(本願寺)を献上したとの事であつた。何故、西・東 本願寺に分かれていたのかの疑問が一つ解けた。

六月十九日伊都文化会館で戦争犠牲者追悼法要があるが、御笠組でやつてあるのは立派であると結ばれた。

この法縁の遇わせて頂くことは、先の大戦でいのちをなくされた犠牲者に思いをめぐらすと共に、その方達のおかげで今日の私たちがあり、一人ひとりがいのちの尊さ確かめ合い、戦争という痛ましいあやまちを二度と繰り返すことのない平和な世界の実現にむけて決意を明らかにしなければなりません。しかしながら戦後七十年近くになり戦争を知らない人たちが多くなっています。身近では福岡大空襲や筑紫駅付近での電車襲撃などもあり、



決して風化させることなく継承の義務があると強く感じます。



街頭募金

仏教婦人会では、ダーナ活動として東日本大震災復興支援の街頭募金を実施しました。日時は平成二十五年一月三十一日(木)10:30~11:30、場所はJR二日市駅前、募金額は16,816円でした。本年度もダーナ活動として震災支援の街頭募金を実施いたします。皆様のご協力をよろしくお願いします。



~大切な人を送る時、私たちができること~



CHIKUSHI

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

葬祭式場 セレモニー 筑紫

本社 / 〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3丁目2-21

TEL 092-925-4444(代)

セレモニー 筑紫 / 筑紫野市塔原東4丁目3-5 TEL 092-924-5177



お仏壇の **よーかどう**

お仏壇・仏具のご相談はお電話を!

筑紫野市二日市中央通商店街

☎092-924-1111

御笠組寺院機能部 バス研修に参加して

大願寺門徒

大坪 悦子(釋慈香)

今回のバス研修は寺院機能部三組織(門徒代表者協議会・門徒推進員連絡協議会・れんけん修了者の集い)初の合同研修。六月二十八日梅雨の晴れ間をぬつての出発。行き先は大分。「れんけん」の基礎を築いた長光寺と、県の有形文化財指定の古刹(こさつ)、教尊寺。そして白杵の石仏見学。総勢五十二名バス二台に便乗。あまり知り合う事のない組織の方達と同席。だがすぐに笑い声と共にお菓子が飛び交い車内は和気あいあい。

昼前に長光寺着。大在(おおざい)住職の出迎えを受け、早速「れんけん」発足時から活動内容を拝聴。月一回夕方六時半からの開催で常時一〇〇名以上の参加者が有るとの事。テーマに添い全員発言の法座が中心。盛り上がったテーマは『悪人正機』と『迷信』だったとか。質疑応答にもギリギリまで御対応戴いた。

次の訪問地教尊寺に着く頃、暑さをしのぐ優しい雨が降り出す。重要指定の建物は山門の石段をして既に趣がある。細川家ゆかりの室や伊能忠敬が宿泊した室とその記録書を拝見。歴史の深さを実感。柱や天井の彫刻も立派だが、当時は親子二代に渡り本願寺総長を輩出した唯一の寺院でもある。

慈雨の中教尊寺から白杵石仏群へ、苔むした地面から切りだった岩肌に彫られた仏像達。穏やかな中にも揺らぎの無い表情を覗いていると、仏教の真髄を後世に残し伝えようとしていた先人達の声か聴こえてくる様だった。

動いて初めて見える風景がある。意義深い研修となった。



JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき... 24時間承っております

筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市三日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEW!にじの会 会員募集!!

漆 歴史と伝統の技で創る...仏壇・寺院用品

(株)福岡 仏 掌 堂

〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目9-1 TEL(092)561-7070代
FAX(092)561-8463
〔工場・夢工房〕福岡県八女市室岡1299 TEL(0943)24-2110



お釈迦様からのメッセージ

光蓮寺住職 芳村 隆法

先日、ご門徒さんと雑談していましたが、「ご住職さん、なんといつても PPK が一番ですね」と言われて思わず「何ですか?」と聞き返しました。

あなたはこの意味をご存知ですか? 正解はピンピンコロリの略、元気で長生き、最後はコロリという意味で、東京には PPK の会なるサークルまであるそうです。

核家族化と言われて半世紀が過ぎ、少子・「超」高齢化を迎えようとしている社会の中で、子どもや孫に迷惑かけたくないという思いは切実です。だけど私が人生の大先輩から教わってきたことは、生命とは私の思うようにならないという事実です。「ピンピンコロリ」を最上の価値として生きていけば、思いがけず病気をしたり、老いを迎えたとき「こんなはずじゃなかった」「こんなに迷惑かけて生きていいのかしら」という愚痴や後悔で人生を終えていかなくてはならない、そのことを親鸞聖人は「空過(むなしく過ぎる)」と言われたのです。

お釈迦様最後の旅

ここでお釈迦様が人生をどう終えられたか、たずねてみましょう。

年老いた釈尊は、マガダ国・王舎城での説法を終えて、最後の旅に出ました。弟子の阿難を連れてガンジス河を北に渡り、ペールヴァ村で雨安居を過ごしました。その時、釈尊の身に病が生じ激痛が起り、死の近いことを自覚した釈尊は弟子たちに予告しました。

あらゆるものは、うつろいやすいものである。

怠ることなく精進しなさい。これより三ヶ月ののち、如来は涅槃に入るであろう。

それでも病をおして旅を続ける途中、鍛冶屋チュンダの供養を受け、その食事が原因となって下血をとまなう重い病気になり、激痛が襲います。激しい下痢と腹痛をおして北への旅を続け、クシナガラで、二本の沙羅の樹の間に衣を敷き、静かに横たわり、弟子たちに最後の説法を行いました。

つくられたものは実は無常であり、生じては滅びるきまりのものである。

生じては滅びる。これら(つくられたもの)のやすらいが安楽である。

阿難よ、悲しむな。愛しいものであっても、すべて別れなければならないものである。

おまえはよく仕えてくれた。努め励んで修行せよ。

この世で自らを灯火とし、自らをたよりとして、他人をたよりとせず、

法を灯火とし、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ(自灯明・法灯明)

もう教えるべきことはすべて語り終えた。

最後の説法を終えたお釈迦様はそのまま安らかな状態に入り、八十年の生涯を終えられたのです。

生命の真実に目覚められ(智慧)、その真実を自分だけのものとせず、あらゆる人たちの苦悩からの解放を願い、説き続けられた四十五年間の布教伝道生活が慈悲の実践でした。それはお釈迦様自ら、弟子たちに厳しい生命の事実をさらしてまで行われたことが最後の説法でも分かります。

自灯明・法灯明とは、本当は思うようにならない生命を生きている自分だからこそ、人生の迷いという暗闇を、法(真実のおしえ)に照らされて、導かれて、空しく終えない人生を歩んで行きなさいという、お釈迦様からのメッセージなのです。

おてての しわとしわを あわせて しあわせ なーむー



お仏壇・墓石
はせがわ

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店

太宰府インター
グッティそば

☎092-503-0800

大規模葬から家族葬まで…

もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ

善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

ほとけの子

キッズサンガ

子どもにも浄土真宗を

願応寺衆徒 中川 一晃

最近、テレビでクイズ番組を見ていて、なんだかなあと思うことがあります。いわゆる高学歴の人が難問を答え、周りが「さすが!」「すごい!」と拍手喝采で盛り上がる場面があると思えば、俗に言う珍回答で周リから「そんなもんも知らんのか!」と笑われ馬鹿にされる人もいます。それを子どもがいる家庭で家族みんなで見ていたら子どもはどう思うでしょうか? 学校で自分よりも勉強が出来ない友達をどんな目で見るでしょうか? 親から「いじめは駄目」と言われてもテレビの中で「いじめ」と変わらない映像を見て家族みんなで笑っているのに納得するのでしょうか?

今、子どもたちは競争社会にもまれ常に比較され評価されながら生きています。生きているのが大変な時代です。友達なのかライバルなのか分からない関係の中で生活しないといけません。成果主義の中で成績が上がれば褒められ下がれば怒られ、「もっと頑張れ」「頑張れば報われる」とプレッシャーだらけです。ストレスがたまるとも仕方ない状況です。優劣をつけずにそのままいいという世界が一番安心出来る世界ではないでしょうか? その世界こそ浄土真宗のめざす世界です。他と比べひがみ苦しむ世界を打破していく教えです。キッズサンガという「将来、お寺に誰も来てくれなくなるから子どものうちからお寺に馴染んでもらっておこう」という種まきの発想と思われがちですが、そうではありません。

「今、子どもたちと一緒に浄土真宗をいただきたいこう」というのがキッズサンガです。大人だけじゃなく、子どもたちもさまざまな悩みをもって生きています。みんなで浄土真宗の教えをいただいきたいです。

合掌



願応寺お斎

毎月の法座では地域を順番に回り、旬の物を使った料理を作っています。

報恩講では、昔ながらの「塗り碗」を使ってお出ししていますので、とても喜ばれます。

また、春と秋のお彼岸の法座では最近はお赤飯を作っていました。以前のように、おはぎを作ろうと婦人会の役員と門徒推進員で今から張り切っています。どうぞお参りください。



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事
設計・施工
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574
(FAX) 924-8212

草苑 (SOUEEN)

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

本願力にあひぬれば……3 待ち合わせ場所は築地本願寺

大願寺門徒 渡辺晋也(釋超証)

今年も可愛い孫に会うために、ゴールデンウィークを利用して東京に行きました。ここ数年、私たち夫婦の恒例行事です。

そして、毎回、待ち合わせ場所は築地本願寺です。数年前、「本願寺新報」の「法座と催し」欄に、築地本願寺の常例布教の予定が載っていました。せっかく東京に行くなら常例布教にあわせて参拝し、お聴聞させていただくこととしました。また、広い境内や本堂への階段を楽しむように走り回る孫の姿が重なり、待ち合わせ場所を築地本願寺としました。しかし、私の思いは、長男夫婦、孫がご縁に出遇ってもらいたいというものであります。

ところで、築地本願寺が他のお寺と違うのは、築地市場からの仕事帰りに立ち寄った地元の人、ガイドブックを持った観光客、外国人

等々、四十〜五十人が長い列を作つて整然と並んでお参りしている風景であります(写真)。お寺がこのようにいつでも、誰でも気軽に立ち寄れ、お参りできる開かれた場所になる、そのヒントがここにあるように思いました。

るように、毎年、築地本願寺で待ち合わせ、参拝・聴聞を続けたいと思っています。築地本願寺の掲示板に次のことが掲載されていました。

聴聞

今からでも

遅くない

明日では

遅すぎる



編集後記

新組報となりまして今回で第3号目です。第1号の刊行から一年、時が経つのはなんと早いものかと思ひます。

今回はご巡教記念法座・戦争犠牲者追悼法要についてとり上げさせて頂きました。先の大戦を決して風化させてはならないと感じ、改めて一人ひとりの命の尊さについて考えさせられました。

次回で第50号となります。引き続き、皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

法律相談

初回相談無料
毎週月曜日・金曜日
午前八時半〜午後六時
※弁護士が相談に応じます
相談専用電話
(092)711-1432
©プライバシーは必ず守られます。
お問い合わせ 福岡教区教務所
☎(092)711-1432

ビハーラ・ライン・福岡 こころの電話

こころの電話
☎(092)711-1432
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00〜午後4:30
プライバシーは守ります
(相談内容)
浄土真宗本願寺派社会福祉協議会福岡支部

積善社

筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)

☎0120-14-0789 (フリーダイヤル)



お仏壇の

ルンビニープラザ つが

太宰府店

〔駐車場完備〕

太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080